

い

編集発行：池田市議会  
住所：大阪府  
池田市城南  
1丁目1番1号  
郵便番号：563-8666  
TEL：072-752-1111  
FAX：072-753-5414  
http://www.city.ikeda.  
osaka.jp/

いけだ  
No.179  
だ

いけだ市議会だより 令和4年(2022年)5月1日



池田五月山さくらまつり

<b>3月定例会</b>	2
決議・意見書	2
1月臨時会	2
議決結果	3
<b>各派代表質問</b>	4
<b>委員会レポート</b>	10
議会からの提言について	12
議会日誌	12
やまばと	12

### 池田市議会 録画映像配信を行っています

市議会では議会改革の一環として、代表質問・一般質問の録画映像配信を行ってきましたが、令和4年3月定例会からは、さらに本会議の議案審議等の録画映像配信を開始しました。

本号に掲載の3月定例会の審議内容や各派代表質問については、紙面の都合上、一部しか掲載できませんので、詳細については、外部サイト「YouTube」において配信しております録画映像を御覧ください。

池田市議会 映像 🔍



3

# 3月定例会

3月定例会は、2月28日に開会し、市長から令和4年度各会計予算など議案24件と人事案件3件が提出され、本会議及び委員会にて審議を行い、いずれも可決・同意しました。

また、市長の「令和4年度施政及び予算編成方針」と教育長の「令和4年度教育方針と主要施策」が発表され、それに対する各派代表質問を3月7日に行い、市民の声を市政に反映させるため、それぞれの立場から活発な議論を行いました。

そして3月29日には、市長から提出された追加議案1件を審議し、原案どおり可決し、3月定例会を閉会しました。

## 令和4年度予算を可決 一般会計予算は401億円

令和4年度の予算総額は、88億7773万円（前年度当初予算に比べて1.9%、16億5258万円の増となっております。そのうち、一般会計予算は400億9400万円で、前年度当初予算と比べて1.7%、6億7700万円の増となっております。一般会計の重点施策としては、以下のとおりです。

### 《子育ての分野》

離婚前や離婚後のひとり親家庭に対する、弁護士や専門員による

無料相談や公正証書作成の費用補助に1111万円を計上しています。

### 《安全・安心の分野》

阪急池田駅から石橋阪大前駅までの高架橋柱の耐震補強工事に2915万円、バリアフリー化の重点整備地区の設定や整備方針の検討に450万円を計上しています。

### 《教育の分野》

支援が必要な児童・生徒一人一人の教育的ニーズに対応するため、支援教育チーフコーディネーター教員の配置に2233万円、「ツナガリエ石橋」内に開設する石橋図書館の管理・運営に1384万円を計上しています。

### 《文化の分野》

「ツナガリエ石橋」内に開設するダイバーシティセンターにおける、女性相談窓口や啓発セミナー、多言語相談等の実施に664万円を計上しています。

### 《行財政改革の分野》

子育て、介護等の26項目の手續について、マイナンバーカードを用いたオンライン手續の実施に3570万円を計上しています。

一般会計予算の反対意見としては、マイナンバーカードを活用したオンライン手續の拡充は、個人情報一元化や流出の可能性がある。また、府独自のチャレンジスタは、子どもたちの中に分断を生みかねず、小学生対象のすくすくウォッチも、子どもや教職員に大きな負担を強いている。さらに、非正規職員における、シエンダー平等の是正を行うべきなどの意見が出されました。

一方、賛成意見としては、前年度に比べて衛生費の予算が増額されており、コロナ対策への取組が図られている。また、本市独自の取組として、英語専科教員を全校に配置するなど、教育の充実を図っている。さらに、SDGsの「誰一人取り残さない」という理念の下、ダイバーシティセンターを拠

点として、ダイバーシティ社会の啓発や推進に取り組まれることを期待するなどの意見があり、結局賛成多数をもって原案どおり可決しました。

## 決議

3月定例会においては、次の決議を全会一致で可決しました。  
○ロシアに対しウクライナ侵略を直ちに中止し撤退を求める決議

## 意見書

3月定例会においては、次の意見書を採択し、関係機関に送付しました。  
○男女の賃金格差の是正を求める意見書

## 1月臨時会

1月21日に臨時会を開会し、市長から提出された、新型コロナウイルス感染症対策に係る一般会計補正予算案を審議しました。

国の地方創生臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響で長期にわたり外出頻度や人との関わりが減少した高齢者を応援するため、ギフトカードを送付

する事業をはじめ、消費喚起を目的に、市内店舗においてキャッシュレス決済を利用した消費者に対し、20%のプレミアムポイントを付与する事業や学校給食の充実を図るため、食材費の上昇分について支援する事業などの提案がありました。

審議の中では、高齢者応援事業の実施スケジュールや消費喚起事業のキャッシュレス決済事業者の選定方法、給食支援の実施期間などについて質疑が交わされました。

審議終了後、一派から「今回の補正予算案は新型コロナウイルス感染症対策として一定の効果は認めるものの、新規感染者の拡大防止策としてのワクチン接種とPCR検査の拡大に関する予算が組みまわっていない。また、消費喚起事業を実施することで経済が活性化することに異論はないが、事業の実施時期と感染拡大の時期が重なると、さらなる感染拡大につながるおそれがあるため、無条件に賛成できない」との意見表明がなされましたが、結局、全会一致で可決しました。

### ○市長提出議案及び議決の結果（1月臨時会・3月定例会）

議 案 名	議決の結果
令和3年度池田市一般会計補正予算（第10号）	原案可決（全員異議なし）
市立学校講堂等使用条例の全部改正について	原案可決（全員異議なし）
労働者災害補償保険法の適用を受ける職員の公務災害等に伴う休業補償等の支給に関する条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市の特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市いじめ問題調査委員会条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市都市計画法施行条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市消防保安行政事務手数料条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市教育長の任命について	同意（全員異議なし）
池田市教育委員会委員の任命について	同意（全員異議なし）
財産区管理委員の選任について	同意（全員異議なし）
令和3年度池田市病院事業会計補正予算（第3号）	原案可決（全員異議なし）
令和3年度池田市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決（全員異議なし）
令和3年度池田市公共下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決（全員異議なし）
令和3年度池田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全員異議なし）
令和3年度池田市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全員異議なし）
令和3年度池田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全員異議なし）
令和3年度池田市一般会計補正予算（第11号）	原案可決（全員異議なし）
令和4年度池田市病院事業会計予算	原案可決（全員異議なし）
令和4年度池田市水道事業会計予算	原案可決（全員異議なし）
令和4年度池田市公共下水道事業会計予算	原案可決（賛成多数）
令和4年度池田市国民健康保険特別会計予算	原案可決（全員異議なし）
令和4年度池田市介護保険事業特別会計予算	原案可決（全員異議なし）
令和4年度池田市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決（賛成多数）
令和4年度池田市一般会計予算	原案可決（賛成多数）
職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
令和4年度池田市病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決（全員異議なし）

# 代表質問

青風会議員団

川西 二郎

山田 正司

中田 正紀

守屋 大道



質問者 守屋 大道

一人ひとりが安全安心で幸の多い  
地域共生社会の実現を

**問** 駅周辺を中心とした市街地整備について

池田駅周辺の多様なステークホルダーとは具体的にどういった関係者を指しており、今後パリアフリーにも対応したまちなみの実現に向け、どのような共創の絵を描いているのか。

**答** いけだ駅前活性化プロジェクトとして再整備

駅周辺で活動をされている市民や団体、地権者、事業者の方をはじめ、企業など多くの方に参画していただいている。「歩きたくなるまちなか」の実現に向け、パリアフリーにも対応しながら「未来ビジョン」の検討を進めていく。

**問** 農福連携事業のビジネスモデルとは

休耕地と福祉の分野で活躍の場を広げる農福連携事業について、全国各地で実践されているが、どのように行っているのか。

**答** AI等を活用し障がい者の働く環境を創出

障がいを抱えている方々が多様に働くことができる環境を創出するため、AIやIoTテクノロジーを活用した実証実験を行う予定。

持続可能な事業にすることやコスト面、障がい者へのフォローアップなどが課題である。

**問** 新たな旅のスタイルの環境整備とは

観光客を呼び込む新たな旅のスタイルの環境整備について問う。

**答** モデル地域として様々な取組を実施

国から近畿圏4か所のうちの1つとして補助金採択された。環境整備としては、企業対象のモニターツアー・セミナー等の実施やホームページの作成に加え、放送局と連携したウェブ上のPRやPR動画の作成等に取り組む。

**問** 保健事業と介護予防の一体的実施とは

人生100年時代における平均寿命と健康寿命の延伸とさらなる医療費適正化にどのように努めているのか。

**答** 健康維持やフレイル予防に努める新たな取組

健康課題を把握し、介護予防事業と連携しながら保健事業を実施。転倒による骨折を予防するため、複数会場で健康計測会を実施する。計測結果を基に改善のための運動指導を実施することで、健康への関心を高めてもらう。また、心疾患や慢性腎不全の発症予防対策として、面談方式の重症化予防事業を実施して、医療費適正化につなげていく。

**問** 英語教育専科教員の成果は

小学校・義務教育学校前期課程での英語専科教員の配置は、専門性の高い教科担任制のよい実践である。成果と今後の課題や他教科への取組について問う。

**答** 系統的な細やかな指導が行われている

「聞く力」「話す力」の領域で継続的な取組の成果があったと認識している。より効果が高まるように段階的に実施教科や実施体制を検討するとともに、より専門性を持った教員の育成に向けて教員研修を充実していく。





# 各派



質問者 坂上 昭栄

## 新生クラブ議員団

下野 明 前田 敏  
坂上 昭栄

対話とつながりを大切に  
安全・安心な未来のまちづくり

問 本市における人口増加について

答 第6次総合計画の目標である人口10万5千人は達成される見込みと考えるが、その評価と第7次総合計画における人口動態の分析内容について問う。

問 今後は「まちづくり人口の拡大を目指す」

答 各施策の推進による本市の魅力向上が、定住人口の確保や民間市場における住宅供給につながった。第7次総合計画においては、定住人口のみならず、まちづくり人口の拡大も目指す。

問 「ORHIME チーム」への支援について

答 創業を希望する女性を支援する「ORHIME チーム」が商工会議所内に結成され、その活動に支援補助をすることだが、期待する活動と成果について問う。

問 本市の経済活性化に寄与するものと期待する

答 女性に特化した創業支援は潜在需要が高く、また、女性にとって創業は能力を発揮する重要な手段になるため、補助により、女性が活躍できる環境が整うと期待する。

問 ヤングケアラー対策について

答 言葉自体の社会的認知度が低いことから、社会のサーフティーマネットの網からこぼれ落ち、当事者がケアから卒業した頃には、年齢や所得などの関係で自らの将来像を描けない。そうしたヤングケアラーを発見し相談につなげることが必要と考えるが、その周知や取組について見解を問う。

問 関係機関と協力し社会的認知度向上に努める

答 学校等と協力し、ヤングケアラーが「誰かに頼ってもいい」と自認できるように周知する。

問 学校のICT化による目の健康について

答 目の健康を守るために自ら学び、実践するリテラシーを身に付け、ルールを守って活用する取組や眼科医等の専門家などの最新の医学的知見に基づいた対応が重要と考えるが、見解を問う。



問 眼科医等との連携が可能か検討する

答 家庭や保護者の理解を促すべく、タブレットの使用時間の制限等と併せて、目の健康に関する通知などにより周知し、協力を求めていく。また、校医や眼科医との連携の可能性についても、検討していく。

問 運動部活動の地域移行の構築について

答 スポーツ庁は令和5年度からの運動部指導について、地域移行を議論し、地域でのスポーツ指導を望む教員は兼業兼職の許可を得て指導に携わる仕組みを構築しつつある。本市の取組について問う。

問 各校の部活動における技術的指導を実施

答 指導者派遣事業や子どもたちの学びサポート事業等で外部指導者を任用しているが、指導者の確保等について、さらに検討を進める。



# 代表質問

自民同友会議員団

小林 義典  
浜地慎一郎

細井 馨  
西垣 智



質問者 小林 義典

未来に希望が持てる  
安全・安心なまちづくりの推進

**問** 五月山動物園  
リニューアルのコンセプトは  
どのような再整備を行う予定な  
のか見解を問う。

**答** オーストラリアの森と草原を  
テーマに策定

五月山動物園は昭和32年に開園し、全体的に園舎の老朽化が激しく再整備が必要と認識している。五月山の緑を借景に動物たちが暮らす自然の生息環境を表現した「オーストラリアの森と草原」をテーマに計画を策定する予定。

**問** 産後ケア事業の  
拡充内容について

出産後の母親の心身の安定や育児不安の解消を目的に実施されている、産後ケア事業の拡充内容について問う。

**答** 宿泊型や通所型を  
新たに実施していく

現在は助産師や保育士が家庭を訪問し、母親の心身の安定や育児不安の解消を図っているが、病院や助産院での宿泊や通所によるケアを実施していく。今後利用者も多様な生活環境に対応することにも、産後も安心して子育てができる支援体制の確保に努めていく。

**問** 留守家庭児童会の  
早期拡充・定員増を求める

増加する入会希望児童の受皿確保に向けた教室確保の方法や実施目途について問う。また、新たに配置される巡回支援員の配置基準や業務内容について問う。

**答** 教室確保に努め  
巡回支援員を新たに配置

教室確保は、教育委員会に緊急要請を行い速やかな対応を求めている。長期的には対象学年の拡充を視野に取り組む。

巡回支援員は、子育て支援課に2名配置する。全留守家庭児童会を巡回し、児童の遊びや生活指導、発達支援、保護者対応などで助言や指導を行うほか、指導員対象研修会の開催など、質の向上に取り組みことを主な職務とする。

**問** 小児への  
新型コロナウイルス接種の見解

対象者全員に接種券を発送したが、接種希望者のみ申請する方法でもよかったと考える。この方法になった経緯と小児に対する新型コロナウイルス接種及び情報提供に対する見解を問う。

**答** 接種可否判断のための  
情報提供に努めていく

小児の基礎疾患情報を市として保持していないことや、接種機会を喪失することを防ぐために、一括で送付した。また、有効性・安全性の情報提供について、具体的な事例を検討し、行っていきたい。

**問** 公共交通体系の  
再構築スケジュールについて

具体的施策を検討し、公共交通体系の再構築を行うということだが、目標年度を決めて取り組んでもらう必要があると考える。現在の予定を問う。

**答** 市南部地域において  
調査・研究を実施予定

令和4年度は池田市地域公共交通計画に基づき、路線バスが減便している市南部地域で調査・研究を実施する予定。令和5年度はその結果を基に実証実験に着手し、令和6年度の導入を目指していく。



# 各派



質問者 山元 建

## 日本共産党議員団

藤原美知子 山元 建  
小林 吉三

### コロナ阻止、気候危機打開、 教育充実へ市は全力挙げよ

**問** PCR検査の拡大で  
コロナ感染阻止を

オミクロン株拡大は、依然重大な事態にあり、新たな変異株も危惧されている。寝屋川市では学校で感染者が確認されたら迅速に学年・学級単位でPCR検査を実施し、泉佐野市では昨年夏から市民対象の無料検査所を設置するなど、独自の検査を行っている自治体は多い。しかし、本市は「国・府の動向を見る」と言っており、この間独自の検査をせず、感染者の放置が新たな感染者を生み、保健所や医療現場の逼迫につながっている。学校・職場単位のPCR検査に踏み出すべきではないか。

**答** 本市は独自の検査はしない

検査をすれば、検査後の対応が必要となり、市独自の検査は困難。府が無料のPCR検査を実施。今後、移動困難な方への検査費の助成については検討していきたい。



**問** 市立池田病院は市直営堅持を

国の医療費削減政策の下、医者やベッド数の削減、公立病院の民営化が進んだ。これらの施策がコロナ感染拡大の背景にあるのは明らかである。コロナ禍でその重要な役割が改めて明らかになっていく市立池田病院は、直営を堅持し、体制を拡充すべきではないか。

**答** 公立病院は重要  
民営化ありきではない

公立病院の重要性は認識している。民営化ありきではない。

**問** 国民健康保険料の負担軽減を

国保会計は4億円の赤字を計上しているが、その原資は被保険者の保険料なので、高過ぎる保険料の引下げに使うのが筋と考える。また、家族が増えるたびにかかる均等割は廃止すべきではないか。

**答** 府の方針に基づいて運営

繰越金は府により使途が決まっている。均等割についても、府の国保運営方針に基づき適切に運営しており、廃止は困難。

**問** 気候危機打開へ  
市内農業の振興を

市内農業の振興は、地産地消を推進し、安全・安心な学校給食を実現する上でも、雇用を拡大する上でも、気候危機打開の上でも重要。農地上面に太陽光発電設備を設置するソーラーシェアリングを本市でも推進すべきではないか。

**答** 細河地域でモデルをつくる

まず細河から農業活性化を図り、地産地消を推進。ソーラーシェアリングは国・府の動向を注視する。

**問** 学校給食無償化  
少人数学級の拡大を

異物混入、調理不十分、量不足の問題が後を絶たない学校給食について、業務委託をやめて市の直営に戻し、給食費も無償化へ。また、少人数学級を中学まで拡大すべきではないか。

**答** 安全・安心な  
学校給食に努める

委託業者の指導監督に努める。無償化は財政負担が生じるため、検討が必要。少人数学級の効果はあるが、実現には施設面・人材面の課題がある。

# 代表質問

大阪維新の会池田議員団

安黒 善雄 三宅 正起  
石田 隆史



質問者 安黒 善雄

市民と共に未来へ向かって  
まちづくりに着手する

**問** この半年間の市政運営の反省と今後の方針は

市長は「人を育てる」「まちを育てる」「未来を育てる」という3つの理念を施策の柱に据え、市民に寄り添った市政運営をこの半年間日々精進されてきたと思うが、その反省と今後の方針を問う。

**答** 日々市長としての使命と責任を実感

複合的な行政課題を前に、多岐にわたる情報に基づき、市民の皆様にも寄り添った適切な判断を行う必要がある、市長としての使命と責任を実感してきた。今後、自身の市民感覚を失うことなく、多様な立場の方々の御意見を傾聴するよう努めていく。

**問** 細河地域のまちづくりの考え方は

市街化調整区域である細河地域のまちづくりの考えを問う。

**答** 地域のポテンシャルを生かす方法を検討中

昨年に基本方針を示した。細河地域の活性化に協力いただける市民や業者と連携し、歴史的背景を有する植木産業、農業、自然を生かした地域拠点づくりを目指す。

**問** 池田駅と石橋阪大前駅周辺の将来ビジョンは

にぎわい創出のために、おのの違う地域特性を持った駅周辺をどのように考えているのか問う。

**答** 市民の意見を反映したまちづくりを目指す

池田駅周辺は、エリアプラットフォームの構築と未来ビジョンの策定を行う予定。また、石橋阪大前駅周辺は、まちづくりワークショップを継続させ、市民の意見を反映したまちづくりを目指す。

**問** 池田駅周辺の工事が盛んだが方向性は

駅前ロータリーへのバス停集約工事に伴うバス乗り場改修工事や高架下耐震化工事が進行中であるが、喫煙所のマナーも含めて一体的に検討すべきではないか。

**答** 関係部署と連携し情報共有を図っていく

駅前歩道橋を含む駅周辺の工事は、関係部署と情報共有し、事業の進捗を図る。また、喫煙所外での喫煙者のマナー向上に努める。

**問** 災害時における官民連携の取組は

災害復旧を迅速に行うため、官民連携は必要と考えるが、現在の状況は。

**答** 民間と災害時における協定を締結している

緊急輸送、災害情報発信、宿泊施設や避難場所の提供など、約30の民間事業所及び組合などと災害時における協定を締結している。今後も協力いただける民間事業所があれば前向きに検討する。

**問** 花火大会と市民カーニバル開催の可能性は

市民の夏の風物詩であるイベント開催の可能性を問う。

**答** コロナ感染症対策を講じた上で開催を準備

花火大会は3年連続中止、市民カーニバルも昨年は秋開催になった。それぞれの実行委員会等での慎重な検討に基づき、開催の場合は、万全な感染症対策を講じた上で、イベント開催の準備を進める。







# 各派



質問者 藤本 昌宏

## 公明党議員団

多田 隆一 荒木 眞澄  
藤本 昌宏

### 市民によりそう施策で 持続可能な池田市政を

**問** 産後ケア事業の  
対象施設の拡充を

新年度の産後ケア事業で宿泊型に対応できるのは、市内では市立池田病院のみである。市外の施設利用時でも、対象にすべきでは。

**答** 近隣市施設の利用も  
対象とする

宿泊型・通所型ケアの実施において、近隣市の病院や助産院での利用も対象にする。

**問** 高齢者の情報格差の解消を

行政のオンラインサービスなど、デジタル化の恩恵から、誰一人取り残されないような環境整備が大切。しかし、パソコンやスマホが苦手な高齢者にとって、大きな「デジタル格差」がある。

**答** 国の基本方針に沿って  
施策を推進

包括協定を結んだ民間事業者によるスマホ教室等を開催中である。

**問** コロナ禍の  
児童・生徒の教育機会の確保は

子どもたちが教室での対面が、自宅からのオンラインかを選んで学習できる「ハイブリッド授業」を行い、子どもたちの教育機会の確保を考えると、見解を問う。

**答** 学習機会の保障は  
重要な課題

ハイブリッド授業は、各校の状況に応じて実施中である。学校における環境や運用方法の支援を図り、教育機会の確保に努める。

**問** やまばと学園において  
児童発達支援の拡充を

理学療法士の配置をはじめ、学園の効率的・効果的な施設整備のため、早急な計画策定が必要では。

**答** 建て替え等による  
機能充実を検討

現在も医療的ケアが必要な児童や重症心身障がい児への対応を行っている。施設の老朽化も進んでおり、今後、施設整備や職員配置の充実について検討していく。



**問** 自転車や歩行者の  
安全確保を

自転車利用者や歩行者の安全に配慮するため、交通安全に対するマナー向上対策が重要では。

**答** 交通安全の確保に  
引き続き努める

交通安全教室や街頭啓発活動、小学校での自転車の指導を行い、マナー向上を図っていく。

**問** 災害復旧を迅速にするための  
計画策定を

甚大な被害をもたらす台風や大雨が相次ぐ中、災害廃棄物処理計画がない。このままでは処理が滞って復旧・復興が遅れかねないため、早急な計画策定が必要では。

**答** 廃棄物の処理計画策定に向けて  
調査検討

災害時に発生する廃棄物を適切かつ円滑・迅速に処理するための応急対策や復旧・復興対策を進めることは重要である。そのため、災害廃棄物処理計画について、令和5年度以降、策定に向けた調査・検討を進めていきたい。

# 委員会 レポート

3月定例会では、市長から提出された議案のうち17件の議案を、市議会に設置している4つの常任委員会に審査付託し、細部にわたり慎重に審査しました。

3月29日の本会議では、各委員長が審査の結果報告を行い、市長から提出された議案はいずれも可決しました。

各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

## 総務委員会

ダイバーシティセンターで実施する事業内容は

《一般会計予算》

**問** ダイバーシティ社会の形成に資するため、国際交流センターと男女共生サロンが統合したダイバーシティセンターが、令和4年4月に「ツナガリエ石橋」内にオープンするが、本センターにおいて実施する男女共同参画事業及び多文化共生事業の具体的な事業内容について問う。

また、閉館した石橋プラザで実施していた住民票の写し等の予約取り置きサービスは、「ツナガリエ石橋」においても実施するのか。

女性相談を拡充するほか  
外国人向けの相談等を実施

**答** ダイバーシティセンターにおいて実施予定の男女共同参画事業については、これまで男女共生サロンで実施していた月4回の女性相談を拡充するほか、女性向けセミナーだけでなく、男性向けセミナーも合わせて開催したいと考えている。

また、多文化共生事業については、多言語による外国人向けの相

談やボランティアによる日本語教室、地域の方との交流事業などの実施を考えている。

加えて、住民票の写し等の予約取り置きサービスについては、マインパークカードの普及によりニーズは減少しているものの、「ツナガリエ石橋」に移転する石橋図書館と協議の上、再開したいと考えている。

## 文教病院委員会

旧学校給食センターの解体に向けた今後のスケジュールは

《一般会計予算》

**問** 給食センター管理費に、旧学校給食センター解体事業の設計委託料として1100万円を予算計上している。

旧学校給食センターの解体に向けた今後のスケジュール並びに解体後の跡地活用策について問う。

令和4年度に設計

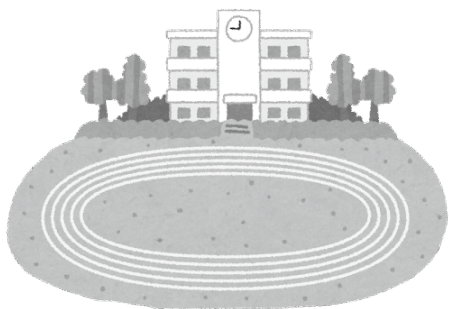
令和5年度に解体工事を実施

**答** 今後のスケジュールについては、令和4年度は7月頃に解体に向けた設計業務の入札を行い、8月から約6か月間の設計業務期間を設け、アスベストの含有の有無

を踏まえた解体や、跡地整備の計画策定並びにそれらの費用積算などを行う予定である。

令和5年度は、4月頃に設計内容を踏まえた工事の入札を行い、その後解体に6か月、跡地整備に4か月の工期を予定しており、隣接する池田小学校やさくら幼稚園と協議しながら、行事に支障を来さないよう、工事を行いたいと考えている。

また、跡地活用策としては、池田小学校のグラウンドの一部として整備したいと考えており、遊具の移設や防球ネットの設置を予定している。



## 厚生委員会

### フレイル予防の啓発方法及び今後の取組は

《後期高齢者医療事業特別会計予算》

**問** 本市における後期高齢者医療の医療費のうち、その多くを骨折や心疾患などが占めているため、その予防対策として、健康計測会を実施しているとのことである。

特に本事業のようなフレイル予防に係る事業を継続的に進めていくことが、平均寿命はもとより、健康寿命の延伸にもつながるものと考えるが、フレイル予防の啓発方法及び今後の取組について問う。

### 冊子を配布したほかフレイル予防健康相談を実施予定

**答** フレイル予防の啓発としては、予防で掲げている3つの柱、すなわち、食事・運動・社会参加に関心を持っていただけるよう、社会福祉協議会が運営する通いの場に保健師と管理栄養士が出向き、今年度は実人員で高齢者が138人、スタッフを含めると444人の方に啓発活動を実施した。

また、今年度は、フレイル予防に特化した冊子、「健康長寿読本」を2千部作成し、各医療機関や、

ふれあいサロンなどに配布した。さらに、新年度には、これらの取組の継続とあわせて、新たに本市直営でフレイル予防健康相談を実施し、より多くの市民に向けてフレイル予防を啓発していく予定であり、できるだけ地区福祉委員に負担をかけることなく気軽に相談できる場を設けていきたいと考えている。

### 敬老の里プロジェクトの今後の対応は

《一般会計予算》

**問** 本予算には、昨年度まで計上されていた敬老の里プロジェクトに係る予算が計上されていない。

本プロジェクトは、計画どおりに進展していないとのことだが、本プロジェクトの現状及び今後の対応について問う。

### 敬老会館の耐震化や長寿命化も含め検討

**答** 本プロジェクトについては、平成31年3月に策定した基本構想において、敬老会館の南側の土地を購入し、敬老会館の建て替えや、やまばと学園の移転等を予定していた。

しかし、策定から時間が経過する中で、当該土地の所有者が、本市に土地を売却せずに、自ら活用

する方針へと変更されたため、本プロジェクトの再検討が必要となっている。

また、現在の敬老会館が建っている土地は、第一種低層住居専用地域であるために、同じ場所建て替える場合には、現在の半分以下となる延べ床面積600㎡以下でしか建物を建築できず、現在と同規模での建て替えができなくなった。

敬老会館は老朽化が進んでおり、早急な対応が必要であるために、今後は施設の耐震化や長寿命化も含めて検討していく。

## 土木消防委員会

### 女性消防団員の職務について

《消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正》

**問** 本条例改正は、全国的に消防団員が減少している中、団員の確保に向けて報酬の引上げなど、国からの処遇改善の要請に基づき、行うものである。

今回は特に、女性の消防団員の人員確保を目的として定員を拡大することだが、女性消防団員の職務及び配属先について問う。

### 応急処置の指導や自主防災組織と連携した活動などを想定

**答** 女性消防団員の職務については、応急手当の指導や自主防災組織と連携した活動などを担ってもらうことを想定している。

また、配属先については、将来的には各分団への配属も考えているが、女性用トイレなど、施設整備が必要となるため、まずは消防団本部へ配属し、女性消防団員の意見を聞きながら、柔軟に対応していきたいと考えている。



## 「予算決算審査サイクル」 議会からの提言について

昨年12月に、令和4年度の予算編成に向けた、12の提言を市長に提出し、左記のとおり、9つの提案が反映され、残り3つの提案は引き続き検討されることになりました。

(主な反映結果)

○地域の実情に合わせた防犯カメラ等の整備について  
↓校区ごとに直近の犯罪傾向を分析するとともに、過去の防犯カメラの警察への開示状況等を勘案しながら設置を検討

○池田小学校プレハブ仮設校舎の存廃並びに旧学校給食センターの早期解体及び跡地活用の検討について  
↓令和4年度に解体及び外構整備に係る設計業務を実施し、令和5年度に工事を実施予定

○五月山の森林整備及び保全事業について  
↓令和4・5年度の2か年で森林の現状把握と整備方針を策定予定

(その他)  
○コロナ禍の影響を受けている商業者への支援強化等について  
○市立池田病院の安定経営について

○GIGAスクール構想推進のための人員配置について  
○特定健診及び各種がん検診の受診率向上等について  
○健康増進等の取組に対するインセンティブ制度の導入について  
○道路交通環境の整備について

## 議会の予定

市議会の役員選出を主として審議するため、5月18日(水)に臨時会を開催する予定です。

6月定例会は、次の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいつでも傍聴できます。開会は、いずれも午前10時からの予定です。(定員あり)

6月6日(月)	本	会	議
6月8日(水)	委	員	会
6月9日(木)	委	員	会
6月10日(金)	委	員	会
6月13日(月)	委	員	会
6月27日(月)	本	会	議
6月28日(火)	本	会	議

※傍聴される場合は、マスクの着用及び入場時の消毒液による手洗いの徹底にご協力いただきますようお願いいたします。

## 議会日誌

1月	1月21日 臨時会
2月	2月24日 予算内示会 各派代表者会議 議会運営委員会
2月	2月28日 市議会定例会 市議会だより編集特別委員会 各派代表者会議 議会運営委員会
3月	3月7日 市議会定例会 3月8日 市議会定例会 3月10日 土木消防委員会 3月14日 厚生委員会 3月15日 文教病院委員会 3月16日 総務委員会 3月29日 各派代表者会議 議会運営委員会 市議会定例会
4月	4月7日 市議会だより編集特別委員会 4月14日 市議会だより編集特別委員会

## やまばと

爽やかな季節が巡ってまいりましたが、世界の地政的な情勢において混沌とした状況が続いています。こうした現状を受け止め、本市議会において「ロシアに対しウクライナ侵略を直ちに中止し撤退を求める決議」を全会一致で決議しました。一刻も早い現地での戦闘状態の終結を望んでおります。

さて、3月定例会では令和4年度「施政及び予算編成方針」及び「教育方針と主要施策」に対して各派代表質問が行われました。また、議案及び予算審査が各常任委員会でも活発に行われ、その内容を本号に掲載いたしました。

現メンバーでの編集による発行は今号で最後となります。一年間の御愛読に感謝申し上げますとともに、新たなメンバーでの編集による次号以降の「いけだ市議会だより」も御愛読賜りますようお願い申し上げます。

市議会だより編集特別委員会

委員長	下 窄
副委員長	浜地 慎一郎
委員	藤本 昌宏
委員	守屋 大道
委員	石田 隆史
委員	小林 吉三